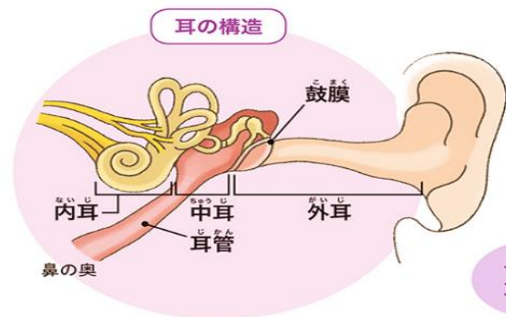




3 月子育て情報誌

寒さが和らいできて、春を感じられるようになりました。気温の変化が大きい時は、大人も子どもも体調を崩しがちです。食事や睡眠などリズムを整えていきましょう。

「3月3日」耳の日に寄せて



耳の仕組みは……

耳の仕組みは、大人も子どもも同じで、外耳、中耳、内耳の3つのパートがあります。耳の穴から鼓膜までが外耳、鼓膜の奥には、中耳、内耳があります。内耳では音や体のバランスなどをキャッチしています。ただ、子どもは、大人よりも体が小さいため、子どもならではの特徴があります。

子どもの耳は……

耳掃除が大変

耳の穴が小さく、中が見づらいため、耳掃除が難しいです。また、耳の中の皮膚は敏感なため、子どもがいやがって動いて耳の中を傷つけることや、きょうだい児が抱きついてきて耳かきが押されて鼓膜が破れる事故も。

だから…

困ったら耳鼻咽喉科で相談しましょう

普段の耳のケアは、お風呂上がりなどに耳の穴の入り口を綿棒でぬぐうだけでもOKです。綿棒を奥に入れてしまうと、耳あかを奥に押し込んでしまうこととなります。耳あかがたまっているのに、耳掃除が難しいときは耳鼻咽喉科で相談しましょう。耳掃除のために受診するのは、めずらしいことではありません。



子どもの耳は……

中耳炎になりやすい

中耳は「耳管」という管で、鼻の奥とつながっています。子どもは大人に比べて耳管が短く、傾きがなだらかなため、鼻の中のウイルスや細菌が耳管を通して中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいのです。

だから…

鼻水を放っておかない

鼻水が出ているのをずっと放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、中耳炎の原因となります。鼻水が多いとき、何日も続くときは鼻吸引器（鼻汁吸引器）などで吸ってあげましょう。



ホームページ



旧ツイッター (X)

令和7年2月28日
社会福祉法人えどがわ
宇喜田おひさま保育園

春分の日

3月20日は「春分の日」です。昼と夜の長さが同じになり、そこから夏至にかけて少しずつ昼が長く、夜が短くなっていきます。春分の3日前から7日間を「春の彼岸」春分の日は「彼岸の中日」といいます。「暑さ寒さも彼岸まで」の通り、暖かくなってきた日差しを感じながら、身近な所で春を探してみましょう。

親子で身体を動かそう

触れ合い遊びを紹介します。お子さんに一緒に、楽しくスキンシップをとりながら触れ合い遊びの時間を楽しんでみませんか。体幹、回転や高さ感覚を養う為にもぜひお家でも遊んでみて下さい。

自転車こぎ

向かい合って座り、お互いの足の裏をくっつけます。そのまま足を上げて自転車をこぐようにします。



足かけまわり

向かいあって手を繋ぎ子どもは大人の体をよじ登ってそのまま逆あがりします。



おもちゃ転がし

大人はうつ伏せになります。おもちゃが焼けたら、ひっくり返すように促します。大人は子どもにひっくり返さないように踏ん張ったり、逆に力を弱めたり、子どもの様子を見ながら動きます。

